

山行報告書

| | | | |
|--------|--|-----|-----------------------|
| 日時 | 2017年 5月4日(木)～6日(土) | 天候 | 2日間晴 最終日雨 |
| 山名 | 穂高岳(上高地～涸沢～ザイテングラード) | | |
| CL | 大久保 | 参加者 | 吉永(登攀SA)・遠田・徳永 (総勢4名) |
| (コース) | <p>・5/4 06:33博多駅発(新幹線及び特急)～松本駅～電車+バス～上高地～徳澤園着</p> <p>・5/5 05:10 徳澤園発 ～ 06:15 横尾(横尾山荘)着～11:00 涸沢小屋着 12:10 涸沢小屋発(ザイテングラード登頂開始)～14:00 登頂断念、下山開始 14:40 涸沢小屋着～宿泊</p> <p>・5/6 06:30 涸沢小屋発～08:30 横尾(横尾山荘)着～09:40 徳澤園着～12:10 上高地着～12:40 駐車場着(タクシー)～私有車に乗り換え～翌02:50 JR博多駅着(解散)</p> | | |
| (コメント) | <p>残雪ではなく積もった新雪が穂高を覆っている。雪の傾面は暖かさで溶けかかり一歩一歩が雪に沈んでいく、時間ばかりが過ぎていく大幅に時間を経過してザイテングラードの側の小豆沢上部でタイムアウト、下降時奥穂高より雪崩が涸沢にも発生していた。涸沢小屋のテラスで乾杯一番の目的は果たした。</p> <p>帰りの中国自動車道でガソリンがない！ なんとか大佐SAに到着、しかし夜が遅い為ガソリンスタンドの灯が消えている、先に進むしかないよいよの時はJAFしかない、先に進むがSAはない、大久保さんが携帯で70キロ先に七塚原SAがあること調べてくれる、走る内に燃料ゲージが点滅を始める、再び大久保さんが24時間営業になっていますと調べてくれる、給油完了。事無く福岡に到着、直方に着いたのは午前5時になっていた。給油までが今回山行の最大の核心部となった皆さん、給油は早めにしましょう。(記 吉永)</p> <p>初めてのアルプス、しかも積雪期であり、期待と不安を持って山行に参加した。徳澤園までの1日目は予定どおり順調であったが、2日目は、積雪に足が進まず、約2時間遅れて涸沢小屋に到着した。小屋の夕食が午後5時であることを考えれば、ザイテングラード往復は難しいと思われたが、行けるところまで行こうということで出発したものの、深い積雪と急坂にスピードが鈍り、途中で断念し下山した。下山が決まった時、私の体はヘトヘトの状態、体力不足を痛感した。下山後の乾杯では、体の底から疲れが溶け出すようで、本当に心地よかった。今回はいい経験ができたと思っており、同行してもらった方々に感謝しています。体力をつけて、また挑戦したいと思います。(記 遠田)</p> | | |

3年振りに履けることになったアイゼンは少し錆びていました。久し振りの雪山にワクワク感と少しの恐怖心。でも、徳澤園でステーキが出たときは、来てよかったと……。去年の夏に行った時と同じく、涸沢ヒュッテが見え始めた辺りで急に胸が苦しくなり鼓動の速さを感じました。心霊現象か？気圧の変化によるものなのか？

やっぱり、涸沢止まりにして良かったです。帰りは白骨温泉を14時頃出発。十四時間後に帰宅。んなに長く乗ってた気もしく楽しい旅を満喫出来ました。(記 徳永)

春の穂高に憧れて今回、登攀リーダーの吉永さんを先頭にザイテングラードまでだったが登る事が出来た。上高地から横尾までの登山道には雪はほとんどない。横尾からは雪道になり、柔らかい雪のトレースを歩く。本谷橋がある場所に橋はなく、そこからひたすらに斜面を登って行く。涸沢小屋からはさらに急斜面を2時間程登る。涸沢岳までは登れなかったが、雪山の経験ができた。参加された皆さん、お疲れ様でした。また、長い運転もお疲れ様でした。(記 大久保)



費用概算

(交通費/人) 博多～上高地 新幹線・特急22750円 電車・バス2650円 車両代、ガソリン代12000円
(その他/人) 徳澤園 12000円 涸沢小屋 9500円

(2016.01.27改訂)